


9. 技術開発、調査、研究の拡充

横浜市水道局の技術開発の成果・活用

発明・考案の名称	共同出願者	出願日	特許取得日	概要
水棲生物を用いた水質連続監視方法	ユニチカ(株)	H9.10.22	H20.5.9	<p>魚やエビが呼吸したり遊泳した時に水中に発生する電位を検出して活動量を求め、活動量が管理限界値を超えたときに水質異常と判定する水質連続監視装置において、監視水槽を2つ以上設置し、一方の水槽から検出される活動量が管理限界値を超えた後、30分以内に他方の水槽においても管理限界値を超えた場合に水質異常と判定することにより、的確な水質の連続監視を行なうことができる装置です。</p> 
汚泥濃縮システム（ガスタービンコージェネを用いた排水処理システム）	川崎重工業(株)	H17.7.14	H20.7.25	<p>コージェネの発生蒸気により浄水場の排水を蒸発濃縮し、汚泥量を1/2に減らすことで脱水機の増設が不要となります。また、コージェネは非常用発電機としても兼用可能です。</p> <p>（システムの特徴）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の排水処理能力の向上 ・排水汚泥の乾燥用燃料の削減 ・コージェネによる電気料金の低減 ・停電時は非常用発電として運用
覆蓋パネル（太陽電池搭載型フロート遮光装置）	タキロンエンジニアリング(株)	H15.1.22	H20.3.28	<p>沈殿池などでの藻類の発生を防止するフロート型の遮光パネルに太陽電池を搭載したもので、遮光パネルに強風に耐えるよう飛散防止構造を備えています。</p> <p>（効果・特徴）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 水処理施設の水面に設置することが可能で敷地が有効活用できます (2) 太陽光発電を設置することによりCO2を削減します。 (3) 太陽光を遮光し藻類の発生を抑制します。 (4) 水面に浮かべるだけなので、設置費が軽減できます。 (5) 設置に伴う施設の改造・補強が必要ありません。 